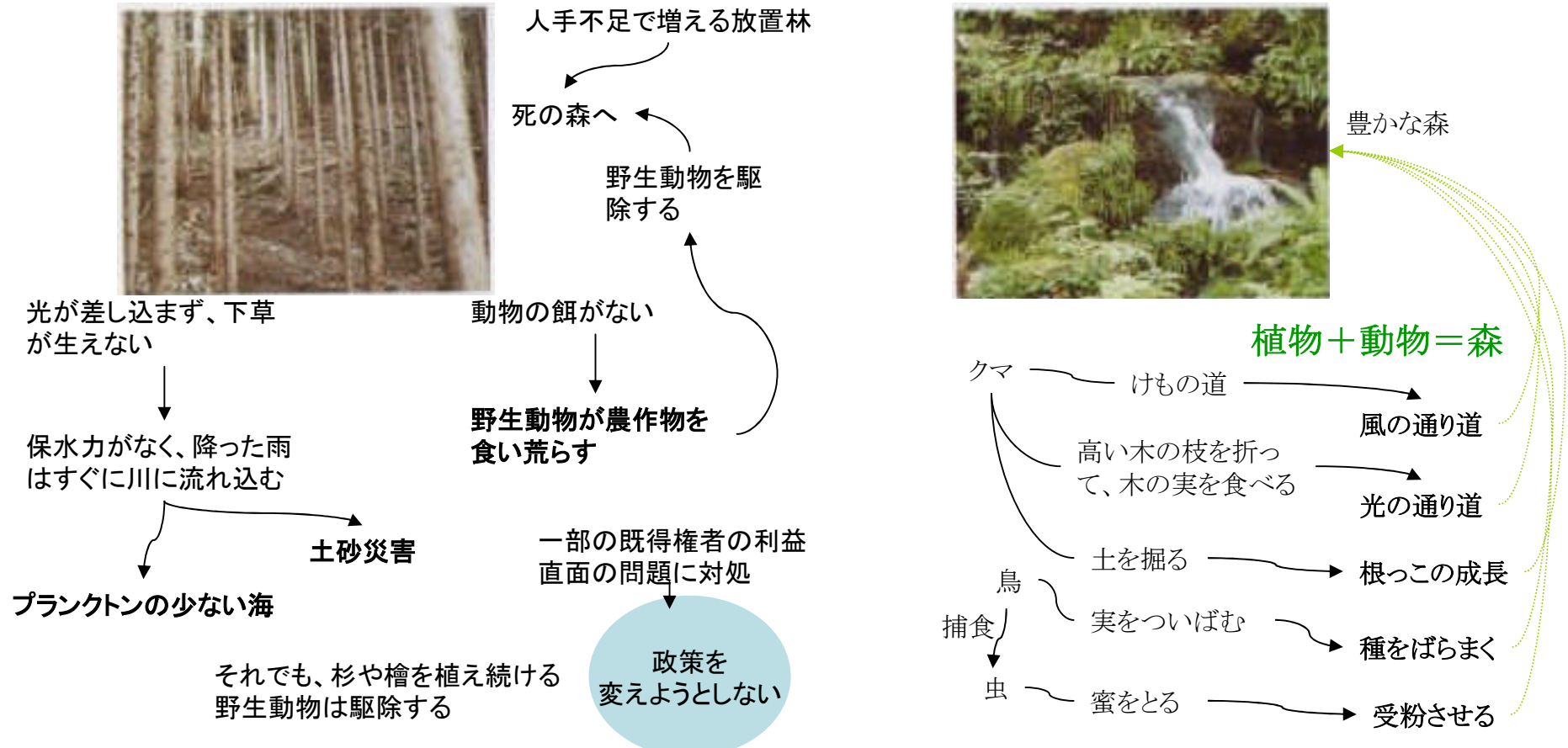


森を滅ぼした文明は滅びる・・・自然災害、野生動物の危機は人間の危機

人工林＝人が手入れをしないと死の森になる

自然林＝多様な動物が森づくりをしている



- 奥山は自然林のまま保全し、植林は森の2～3割までに縮小させて、持続可能な林業に戻すべきだ
- 人間をはじめとする全ての生き物が生き残れるための自然環境を保全してゆく、こういう何よりも大切な仕事に取り組んでくれる若者を次々と育て、自然保護団体の活動を金銭の面からも支えていく社会のシステムをつくっていかねばならない
- 国土には人間が住める定員というものがあります。それを越えたときから、その国は自然を食いつぶして絶滅に向かうしかない」・・・環境省の係官(冊子の33p)
- 江戸時代並みの質素な暮らし(エネルギー消費量は、今の100分の1)をして3000万人

真のリーダーシップは共生できる仕組みをつくることではないか？

- 成果の設定を間違えると、杉や檜だけの死の森をつくりだしかねない。多様な人がいて、はじめて豊かな社会といえるのではないか？



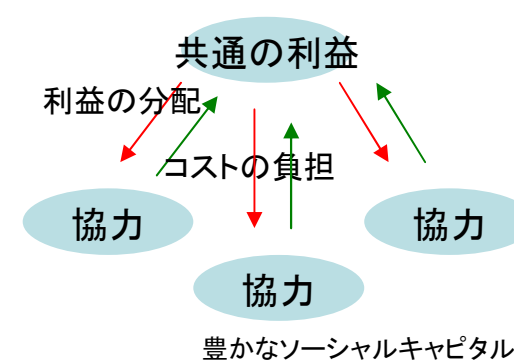
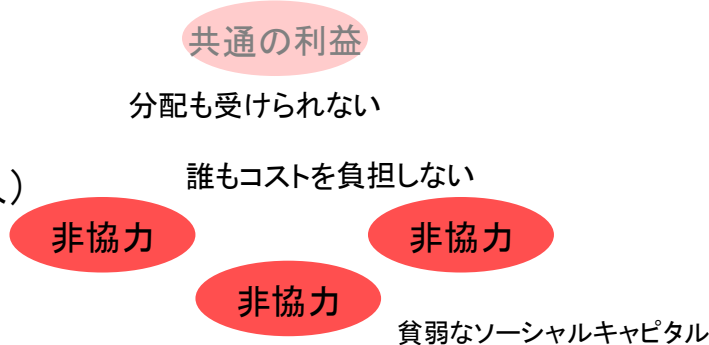
一つの尺度で偏った人づくり

偏差値教育
売上至上主義



全ての人々が協力しあうから豊かな社会を維持できるのではないか？

勝ち組
↓
負け組
いじめ ニート 凶悪犯罪
将来への絶望 (自殺者年間3万人)



- 既に行政は、このままいくと国が減びることを知っている
- とはいえ、行政といえども一般市民から声があがらなければ、一部の既得権者の反対を乗り越えて、政策を転換することはできない
- 豊かなソーシャルキャピタル(公共の利益のために、目先の利益を我慢して協力し合う)を再生させない限り、滅亡はそれほど遠いことではない
- それは、企業の中でも社会でも既に起きていることである

興味がわいたらこちらへ<http://arieru.com/gcc/mori>